

進路を考えるとということ



先週の学年集会では、「中学校最後の一年」「進路選択にむけて」という言葉が、いろいろな先生から出ました。まだ新学期がスタートしたところだし、「受験」とか「進路」とか言われても困る…と思っている人もいます。確かに、中学校を卒業して進んでいく道を「決定」するのは、もう少し後になりますが、「考え始める」時期には入っています。そこで考えてほしいのは、中学校を卒業したあと、自分はどんな道を歩んでいくのか、ということです。

まずは、進学するかどうか。多くの方は進学することを考えています。けれども、義務(ぎむ)教育はこの1年で終わるので、社会に出て働く人もいます。

そして、進学しようと考えている人はどんな勉強をしたいですか。そこには、将来どんな仕事に就(つ)きたいのかも大きく関わってきます。また、それ以上に、どんな学校生活を送るのか、ということもしっかり考えなければなりません。クラブを頑張りたい、勉強を頑張りたい、ボランティア活動に興味がある…など、自分の良さをしっかり伸ばしたり、成長させたりできるかどうかも含めて考えることが、進路選択には大事なことです。

その進路選択のために大切なことを今週の学年集会で話しました。覚えていますか？

- ①提出物は必ず出そう。
- ②期日と時間を守ろう。
- ③興味のある学校には必ず見学に行こう。



楽な苦学はない。
元気で長くない努力もない。
やる時はやらねばならない。



自分の道を決めるのは自分です。これからたくさん悩むことがあると思います。みなさんの先輩たちも、いろいろな悩みながら答えを出してきました。来年の3月に後悔することのないように、一つひとつ丁寧に取り組んでいきましょう。

「勉強」「勉強」と言われる時期になりますが、勉強ももちろん、中学校を卒業したらどんなことを頑張りたいのかも考えてみてください。